

2023年度(令和5年度)温室効果ガス排出量の状況

東金市では「地球温暖化対策の推進に関する法律」(平成10年法律第117号)に基づき、2018年(平成30年)3月に「東金市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、市の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの削減に向けた取り組みを始めました。

計画概要及び2023年度(令和5年度)の温室効果ガス排出量の状況について、公表いたします。

【計画概要】

項目	概要
計画期間	2018年度(平成30年度)から2030年度(令和12年度)まで
計画目標年度	2030年度(令和12年度)
中間目標年度	2022年度(令和4年度)
基準年度	2013年度(平成25年度)
対象範囲	市の全ての事務事業を対象事業とし、出先機関、指定管理者制度により施設運営を外部委託している施設を含む、市の全ての施設
対象となる温室効果ガス	二酸化炭素(CO ₂)、メタン(CH ₄)、一酸化二窒素(N ₂ O)、ハイドロフルオロカーボン(HFCs)
中間目標	2022年度(令和4年度)までに基準年度(2013年度)比で約7%削減
計画目標	2030年度(令和12年度)までに基準年度(2013年度)比で約32%削減

【排出量の状況】

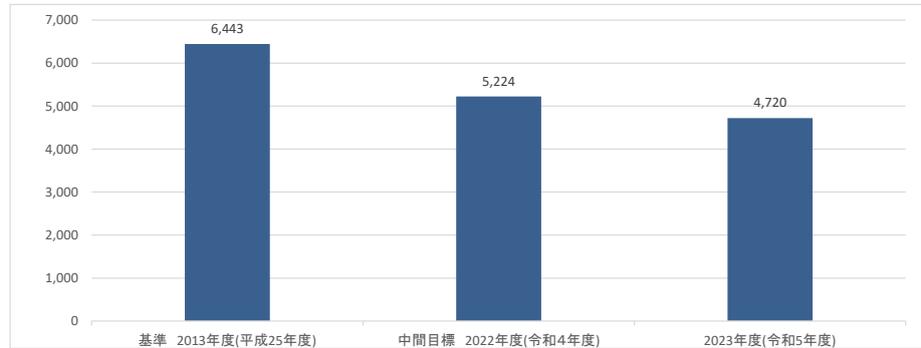
温室効果ガス排出状況は、下表のとおりです。

単位：t-CO₂

項目	基準 2013年度(平成25年度)	中間目標 2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)
二酸化炭素	4,957	4,288	3,716
メタン	81	73	71
一酸化二窒素	1,404	862	932
ハイドロフルオロカーボン	2	1	1
総排出量	6,443	5,224	4,720

※端数処理のため、合計が一致しないことがあります。

単位：t-CO₂



※計画目標と現時点(令和5年度排出量)での排出量比較

項目	計画目標 2030年度(令和12年度)	2023年度(令和5年度)
一般事務事業からの排出量	2,222	2,590
下水処理からの排出量	2,174	2,130
総排出量	4,396	4,720
計画目標を達成するための削減率(%)	6.86%	

2023年度(令和5年度)の温室効果ガスの排出量は4,720t-CO₂で、基準年度(2013年度)と比較して、約26.7パーセントの減少、中間目標(令和4年度)と比較すると約9.6パーセントの減少となっています。また、計画目標(令和12年度)を達成する削減率に関して、令和5年度排出量から6.86%の削減が必要ということがわかりました。

今後も、この計画の温室効果ガス排出削減目標の達成に向けて、地球温暖化対策に取り組んでまいります。